

いきなり2分19秒台をたたき出す。サイトー編があわてて「ピットインのサインを出して」とさげんでヘルメットを取りに走る。メカニックのみなさんはあきれて無視、まったくレースってことを忘れてない？

「サイトーさん、いつも俺の運転見てるんだからさあ、ちつとは速くなつてよ」

「今でもじゆうぶん速いっすよ、なんならオレがGTに乗りましょうか？」

「2コーナーのところに川があつてね、このくらいの魚がいたんですよ、いや、ホントだつては」



「はいはい」



このふたりは心からレースを楽しんでいる。これがモータースポーツの原点だよな。



「クルマを楽しむ」ってひとことでも「チューニングを楽しむ」も「ドライビングを楽しむ」も「バトルを楽しむ」もみんなふくまれている。ガंじがガめの改造規定もモータースポーツの魅力がなくしているひとつの原因だよな。

サイトー編&マッキーも楽しそうだし、ほかのみんなだつてとっても楽しそうだ。レースってホントは、このくらい楽しいもんなんだよな。でも、フレッシュユマンレースなんかでもこんなに楽しそうにやってるヤツいないんだよな。サンデーレースこそモータースポーツの原点なんじゃないかな、と本気で思った塾長なのだ。

「総括！」

今回はマサ・サイトー編とマッキー牧原と共にサンデーレースの耐久に参加したわけだが、ほんつとに楽しそうだった。オレも一緒に参加したかったよ。

ところで、オレが「ね疑問に思ってきた、というか納得できない問題があるんだ。どうしてライセンス保持者は非公認競技（ホントはこの表現にも納得いかない。まるでJAFが公認してなければレースじゃない、みたいな表現だから）に参加しちやいけない、なんて規則があるんだ？」

ここでいうライセンスというのは、A級とかB級ライセンスのこと。よく知らない読者のためにいちおう説明しておこう。JAFの公認レースに出場するためには、A級ライセンスが必要だ。これを取得するために、まずJAFに入会し、講習を受けてB級ライセンスを取得する。

次にBライで出場できるジムカーナやダートラ、ラリーなどの公認タイムトライアル競技に出場し、完走証明をもらう。これでAライを取得するための条件がそろったわけだ。

そしてAライの講習を受け、簡単な筆記試験と実技試験を受け、合格すればA級ライセンスを手に入れることができるわけだ。

これはこれでいいだろう。JAF公認レースに出たいひとが出るために取るライセンスだからな。

でも、ライセンス保持者が非公認競技に出場したら「ライセンスを剥奪する」という罰則があることが納得いかない。非公認競技」という表現からして、なんかとっても悪いこと

のようなかんじがするけど「周

回できる道路（もちろん私有地で持ち主の許可済）にクルマ好きが集まってクルマで遊ぶ」ということをなんてJAFにとやかくいわねければならないのか不思議でしょうがないんだ。

JAFのモータースポーツ・イヤープックにそう書いてあるのは知ってるけど、なんて「クルマ好きなものが集まって遊ぶ」のが「非公認競技」になるわけ？ これを野球にたとえれば高校野球連盟が草野球に参加したら甲子園に出場させない、なんていつてるようなものだぞ。

そうかと思つたら、日本でいちばんサンデーレースしている男、サイトー編はまだまだにAライ持っているし。

話がちょっとズレてしまつたけど、JAFは、なんでサンデーレースに人気があるのか、なんて公認レースに出られるAライを持っているひとがサンデーレースに出るのか、ということについて考える時期にきてると思う。JAFがいうところの公認競技に魅力がないからだ、ということ。

クルマが好きだから、走るのが楽しいから、というのがモータースポーツの原点はずだ。サンデーレースがポピュラーじゃなかった数年前までは、モータースポーツに参加したいからJAFのライセンスを取つた、でも、これが意外とお金がかかるので続けられない。で、最近では手軽に参加できるサンデーレースがあるから、そっちに参加する。

サンデーレースってモーター

スポーツに参加したいひとたちが自分たちで作上げた、いちゃばん純粋なモータースポーツの形なんじゃないかな？ だから魅力的なんじゃないかな？



現在、JAFもナンバー付きのクルマで参加できるレースを始めようとしているけど、サンデーレースはなくなりはないだろう。規則の草案を見るかぎり、JAFは「モータースポーツに参加してみたいな」と思っているのは、これを読んでいるキミを始めとする若い子たちだという、もともと大切なことを忘れていたようだからさ。

オレとしては、ひとりでも多くのひとにモータースポーツを味わってほしい。そのためにライセンスをとってジムカーナに出るなんていわない。サンデーレースでモータースポーツを思いっきり楽しんでくれ。

ただ、サンデーレースを長く続けるために、参加するみんなが「安全」と「ルール&マナー」についてだけは、しっかりした意識を持つようにな。

この問題について、みんなの意見を聞きたい。興味があるキミからの意見を待ってるぜ。誌面を通じて、みんな考えていこうぜ。